

環境レポート2020

<基本方針>

当社は、物づくりにおいて、品質・環境・安全への配慮はきわめて重要な経営課題であるという認識に立ち、下記「基本方針」に基づき各マネジメントシステムを推進しております。

基本方針

製造、販売及びサービス等すべての事業活動における企業責任を果たすため、以下の事項を定め、マネジメントシステムを推進し、その有効性を継続的に改善します。

1. 品質第一に心得、敏速に行動する
2. 感性を磨き、こだわりを重視する
3. 流行に惑わされず、百年の計を見通す
4. 快適な職場環境を形成し、社員の安全と健康を確保する
5. 法規制及びその他の約束を遵守する
6. 資源の節約及び廃棄物の発生量の低減に努める
7. あらゆる活動状況において、汚染の予防を徹底する
8. 環境への負荷を常に考えた行動を行い、環境負荷の少ない製品の提供に努める

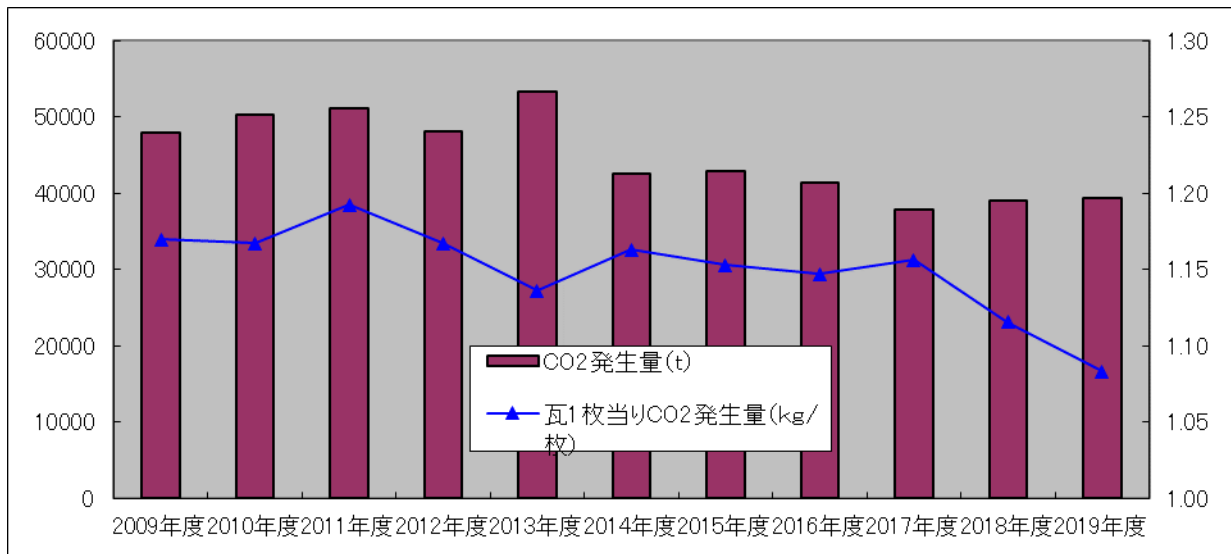
栄四郎瓦株式会社  
 代表取締役 樺山朋久  
 2010.04.01 制定

<CO2発生量削減>

省エネルギー・環境問題への取組みは、1982年、当時のトンネル窯の燃料を重油からLPGに転換しております。2001年度には、具体的な削減目標として、「瓦1枚当りLPG使用量前年度比1%低減」を掲げました。2003年度より、地球温暖化対策の観点からCO2発生量の統計を取り始め、引き続き「瓦1枚当りCO2発生量前年度比1%低減」を目標に掲げました。

2009年より省エネ法が変わり指定工場単位から特定事業者単位に変わり企業全体で取り組むことになりました。

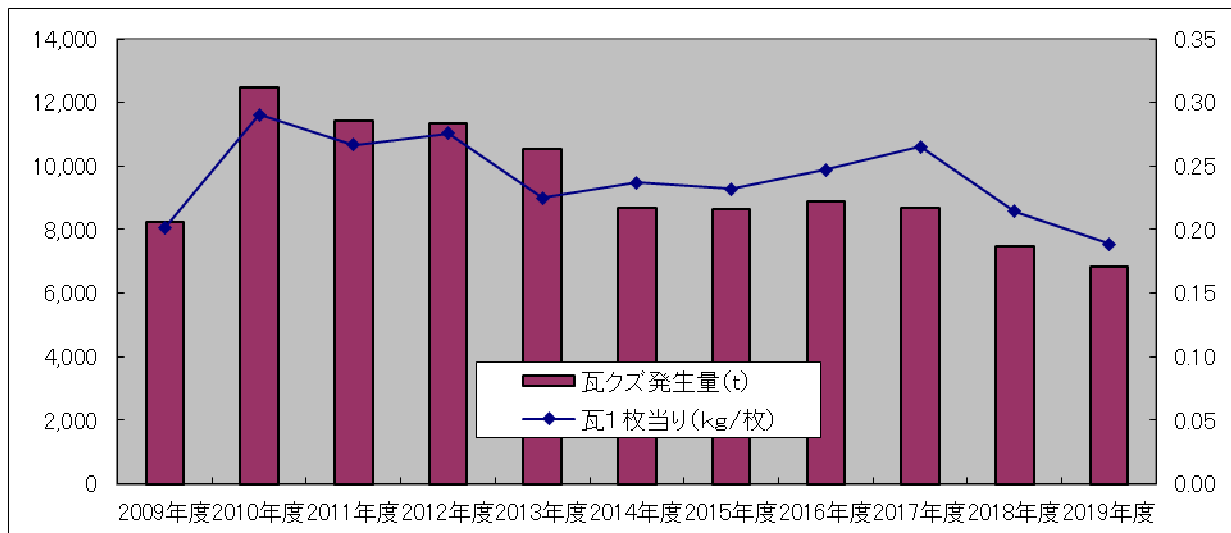
【特定事業者全体】	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
市販品生産枚数(千枚)	41,021	43,019	42,812	41,219	46,873	36,536	37,273	36,058	32,670	34,968	36,311
CO2 発生量(t)	47,976	50,216	51,052	48,144	53,261	42,486	42,978	41,367	37,781	39,013	39,334
瓦1枚(原単位)当り CO2 発生量(kg/枚)	1.17	1.17	1.19	1.17	1.14	1.16	1.15	1.15	1.16	1.12	1.08



< 廃棄物削減 >

生産の過程で不良品（瓦クズ）が約 5%前後発生します。これら瓦くずは、愛知県陶器瓦工業組合に処分を委託しています。愛知県陶器瓦組合では、シャモットまたはビット等に加工し適正に処分を行っています。瓦くずの削減目標はLPGと同じく瓦1枚当りの原単位で管理し、前年度比1%を低減する事を目標に、数々の取り組みを行っています。

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
瓦クズ発生量(t)	8,255	12,491	11,408	11,360	10,548	8,666	8,639	8,902	8,670	7,495	6,844
瓦1枚当り(kg/枚)	0.17	0.29	0.27	0.28	0.23	0.24	0.23	0.25	0.27	0.21	0.19



#### <その他の環境負荷の低減>

その他の環境負荷の低減への取り組みといたしましては、大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の各環境法規制を順守するとともに、工場では、法による規制よりも一段と厳しい環境保全に関する協定を自治体と結び排出量削減の強化を図り、2007年1月より使用している塗薬は、すべて無鉛になりました。

塗薬（塗薬処理水）には、PRTR法に規制される化学物質が含まれております。そのため工場では、その取り扱いに特に注意し、事故の予防及び事故発生時の処置についても緊急事態対応マニュアルを作成し運用しています。2006年度には、全工場の塗薬処理水を原料の水分調整用として使用することに成功し、以後処理水は社外へ排出していません。